

国会会議録に見る複合辞の特異な形 —丁寧形/普通形の不对応—

服部匡 (同志社女子大学表象文化学部)

Marked Forms of Compound Particles in the Minutes of the National Diet of Japan

Tadasu Hattori (Doshisha Women's College of Liberal Arts)

1. 概要

いわゆる複合助詞や関連形式の文法的性質に関しては、多くの記述的研究が行われているが、レジスターに強く依存して用いられる形式についてはあまり注目されていない。本研究では、国会の会議に見られるような形式ばったスタイルで特徴的に用いられる形の存在を指摘し、分布からみた使用特徴や通時的推移について述べる。

動詞由来の複合辞形式のうちニを伴い出現頻度の高い「について、において、によって、に関して、に対して」の5つと、対応の連体形式、それぞれの丁寧な形式の出現傾向を次の3種類のコーパスで調査した。括弧内は対象とする発話の産出年代である。

国会会議録(1947-2006)¹・日本語話し言葉コーパス(1999-2001?)・BCCWJ(書籍・雑誌)その結果の概要を示すと次の(1)ようになる。×はコーパスを問わずほぼ出現しない形であり、△は主に国会会議録に出現するが、従来注目されていない形である²。

(1) 複合助詞・対応形式の主な形とその出現状況

において	×におき ³	×におく	におきまして	△におきます(る)
		における		△におけます(る)
について	につき	×につく	につきまして	△につきます(る)
によって	により	による	によりまして	によります(る)
に関して	に関し	に関する	に関しまして	に関します(る)
に対して	に対し	に対する	対しまして	対します(る)

△を付した丁寧形のうち「におきます(る)」「につきます(る)」は普通形との形式的対応を欠いている。もっとも、「におきます」は意味機能的には普通形「おける」にほぼ対応する⁴。これらの形は、おそらく、「おきまして>おきます」「つきまして>つきます」のような、一種の逆成(back-formation)によって生まれたものと思われる。実例をあげておく(前後略)。

(2) まあ終戦の時ににおきまする問題として、地上に出しておつたものが(1952 参/建設委 5 八

¹ 国会会議録のデータの一部はBCCWJに収録されているが、ここで用いるのはフルセットのデータで、ある。通時的観点からの日本語研究に用いるコーパスの種類や各コーパスの話者生年代・産出年代の分布については、服部(近刊)で述べている。

² 国会会議録で「おけます」は「おきます」の約100分の1の用例数しかなくおよそ1990年以降に集中する。「におきます」はBCCWJにも2回出現し、いずれも浅井基文(1940生, 元外交官, 政治学者)著『平和大国か軍事大国か』の一部であり、講演の記録のように思われる。また、話し言葉コーパスにも6回出現し、いずれも学会講演である。どちらのコーパスでも、総字数あたりの出現頻度は国会会議録よりはるかに低い。なお、「におきました(る)」のような過去の連体形式も国会会議録に見られる。

³ 「におき」は、国会会議録に少数の用例がある。誤記を疑われるものが多いが、それ以外に、「～におき、また、～におきまして」のような等位接続になっているものなどが僅かな数ある。

⁴ 「おきます」には「～におきますと」などのような言い方も見られ、すべてが「おける」に対応した連体用法というわけではない。他にも、対応関係について検討すべきことがあるが省略する。

嶋三郎)

- (3) 私どもは、有事におきます自衛隊の行動につきましては、(1988/85 衆/予算委 2/伊藤圭一)
 (4) 災害時におきます被災者に対する心のケアは、(1992/154 参/災害対策特別委 4/高原亮治)
 (5) 住民税につきます基本的な市町村への通達の中で、(1958/28 衆/地方行政委 16/奥野誠亮)
 (6) 私、実はこの法案につきます質疑をいたすに際しまして、(1985/103 衆/公職選挙法特別委 2/上村千一郎)
 (7) こうした症状につきます検査、投薬、注射などの診療行為につきましては、(1992/154 参/環境委 2/ 中村秀一)

以下では、調査対象を国会会議録に絞り、テ形式と連体形式とのそれぞれ丁寧形と普通形との分布特徴を観察する。

2. 各形式の分布特徴

国会会議録でのテ/テノ形式および連体形式の総用例数を示すと次のようになる。これは、全期間(60年間)の合計であり、括弧内は、1億字あたりの出現頻度である⁵。「におきます」は、低頻度な形式ではないことがわかる。「に関する」の頻度が高いが、これは、「～に関する{法律/請願/件}」のような審議案件の標題(の一部)を多く含んでいる。

表1 各形式の用例数(1億字あたりの頻度) : 普通形

	～テ	～テノ	連体
につき	1,045,788(30122.4)	18,104(521.5)	**
に関し	54,058 (1557.1)	6,706(193.2)	1,084,222(31229.5)
に対し	517,965(14919.2)	2,7051(779.2)	805,410(23198.7)
により	605,814(17449.6)	2,531 (72.9)	381,935(11001.1)
におき	1,045,078(30102.0)	18,100(521.3)	635,903(18316.3)

表2 各形式の用例数(1億字あたりの頻度) : 丁寧形

	～まして	～ましての	～ます
につき	473,969(13652.0)	32,359 (932.1)	1,188 (34.2)
に関し	30,008 (864.3)	1,333 (38.4)	15,524 (447.1)
に対し	140,348 (4042.5)	3,194 (92.0)	28,153 (810.9)
により	253,348 (7297.3)	517 (14.9)	31,118 (896.3)
におき	479,244(13803.9)	7,034 (202.6)	85,197(2454.0)

テ形式と連体形式のそれぞれでの、丁寧形と普通形の比率を図示すると次のようになる。

対応する普通形を欠く「につき」を除くと、連体形式の方がテ形式より、普通形の用例比率が高い。テ形式の場合に比べ連体形式での丁寧形の使用はより丁寧度の高いスタイルを要求するという、三尾(1942)の指摘以来知られる事実の反映と思われる。

⁵ 用例数は、当該複合辞形式の直前・直後の字が漢字か読点の例の数である(「については」等は含まない)が、少数のゴミを含む可能性があり、初期に見られる特殊な表記の一部を見落としている可能性がある。

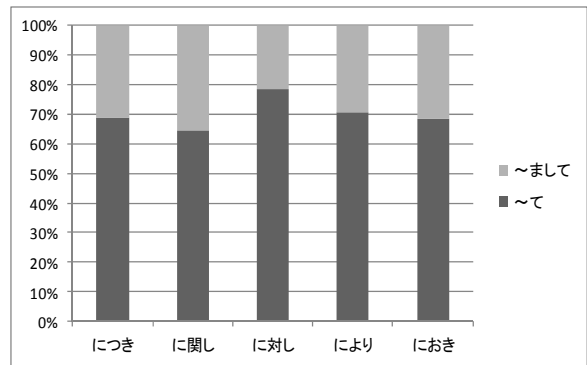
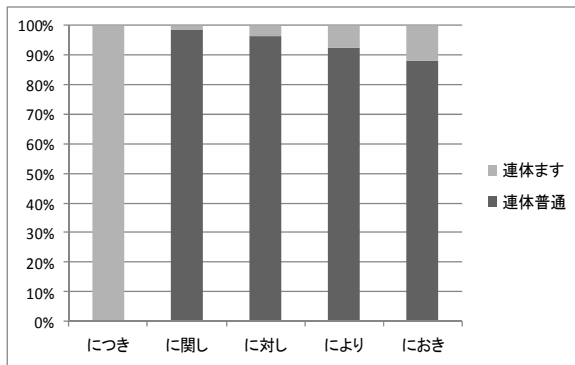


図1 連体形式での丁寧/普通形の比率(1947-2006)

図2 テ形式での丁寧/普通形の比率(1947-2006)

2.1. 会議種別・発言者別の使用傾向

参議院議員の参議院での発言に限定して、会議の議長・委員長等の発言と一般議員の発言を分け、さらに、一般議員については会議の種類(本会議/委員会等)によって分けて、各形式の用例頻度の推移を観察する⁶。6期にわけ、1億字あたり出現頻度の推移を図示する。

1期 1947-1956年 2期 1957-1966年 3期 1967-1976年
4期 1977-1986年 5期 1987-1996年 6期 1997-2006年

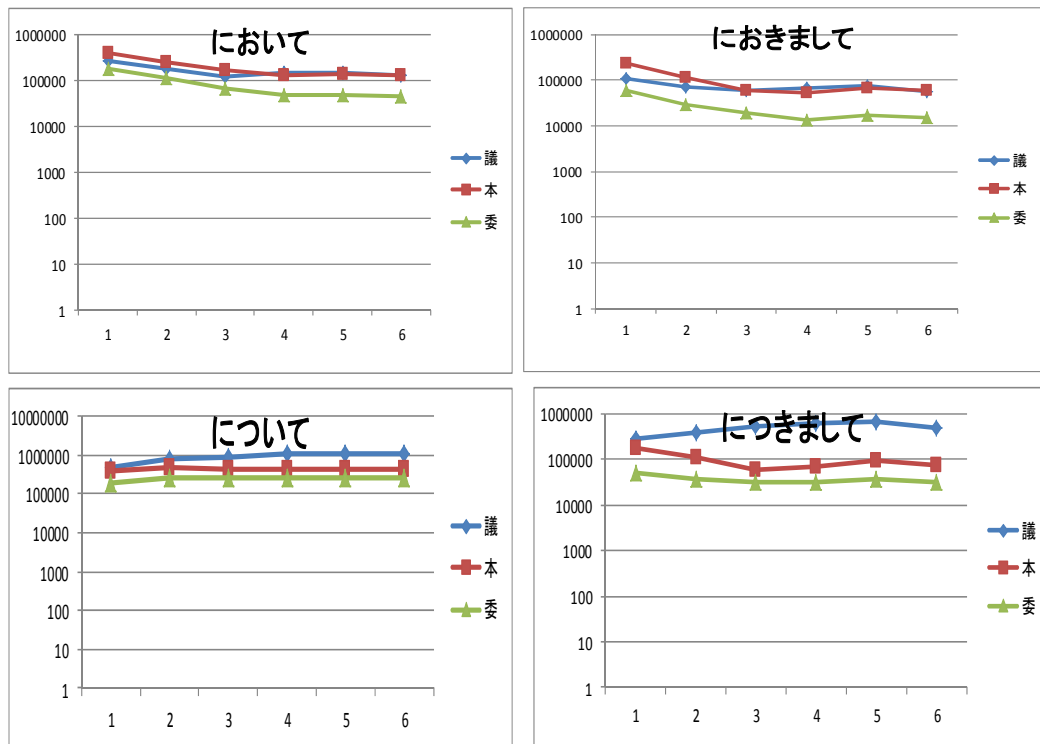


図3-図6 頻度の推移 (議長等/本会議/委員会)

⁶ 用例数は、当該形式の前の文字が漢字の例の数である(後続文字の字種は問わない)。「については」「についてのみ」なども数のうちに含む。

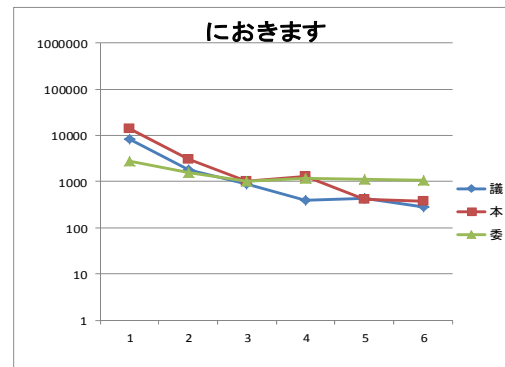
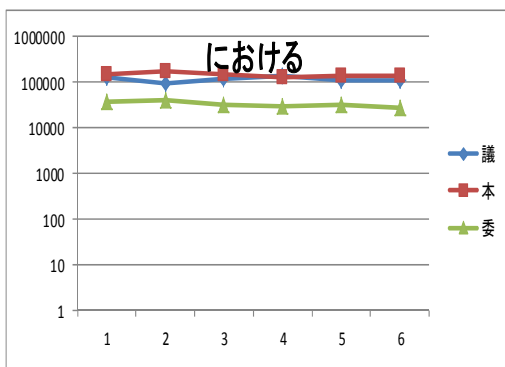
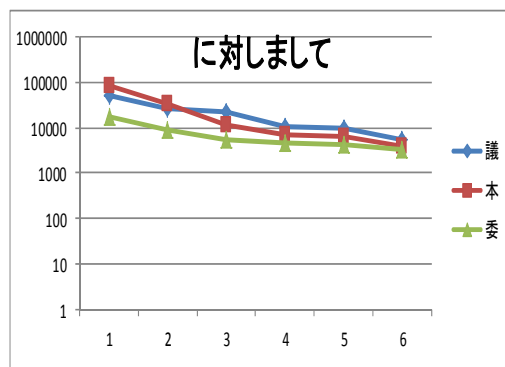
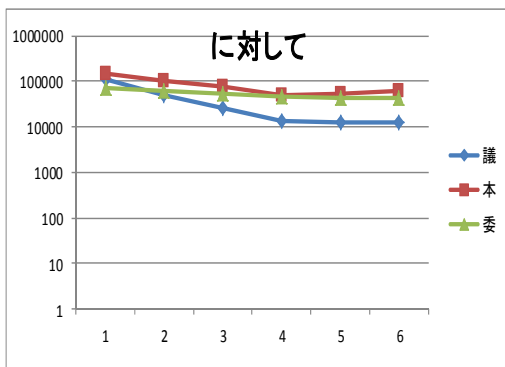
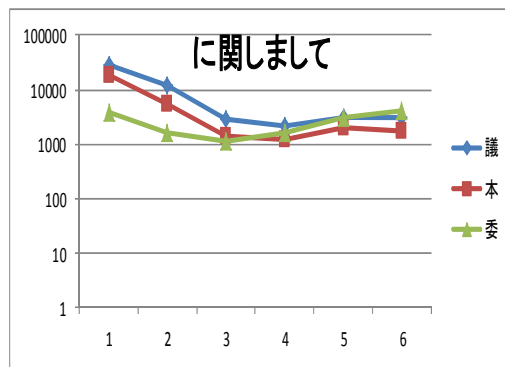
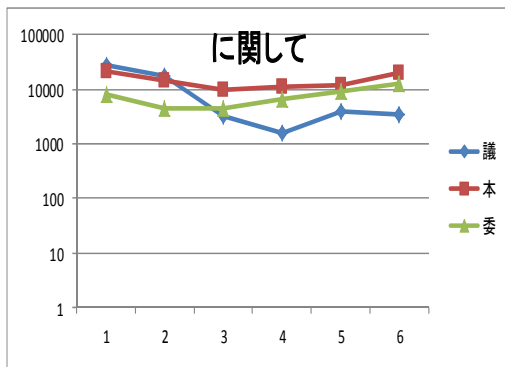
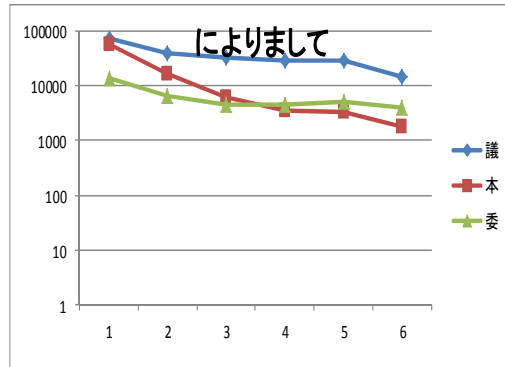
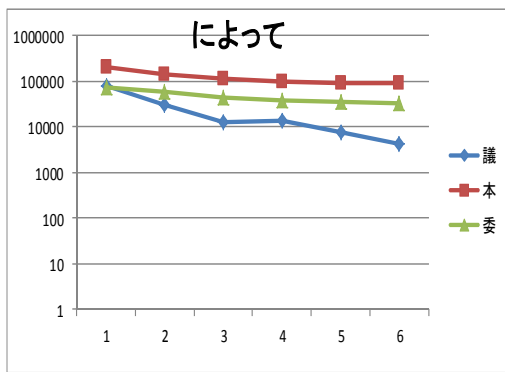


図 7-図 14 頻度の推移 (議長等/本会議/委員会)

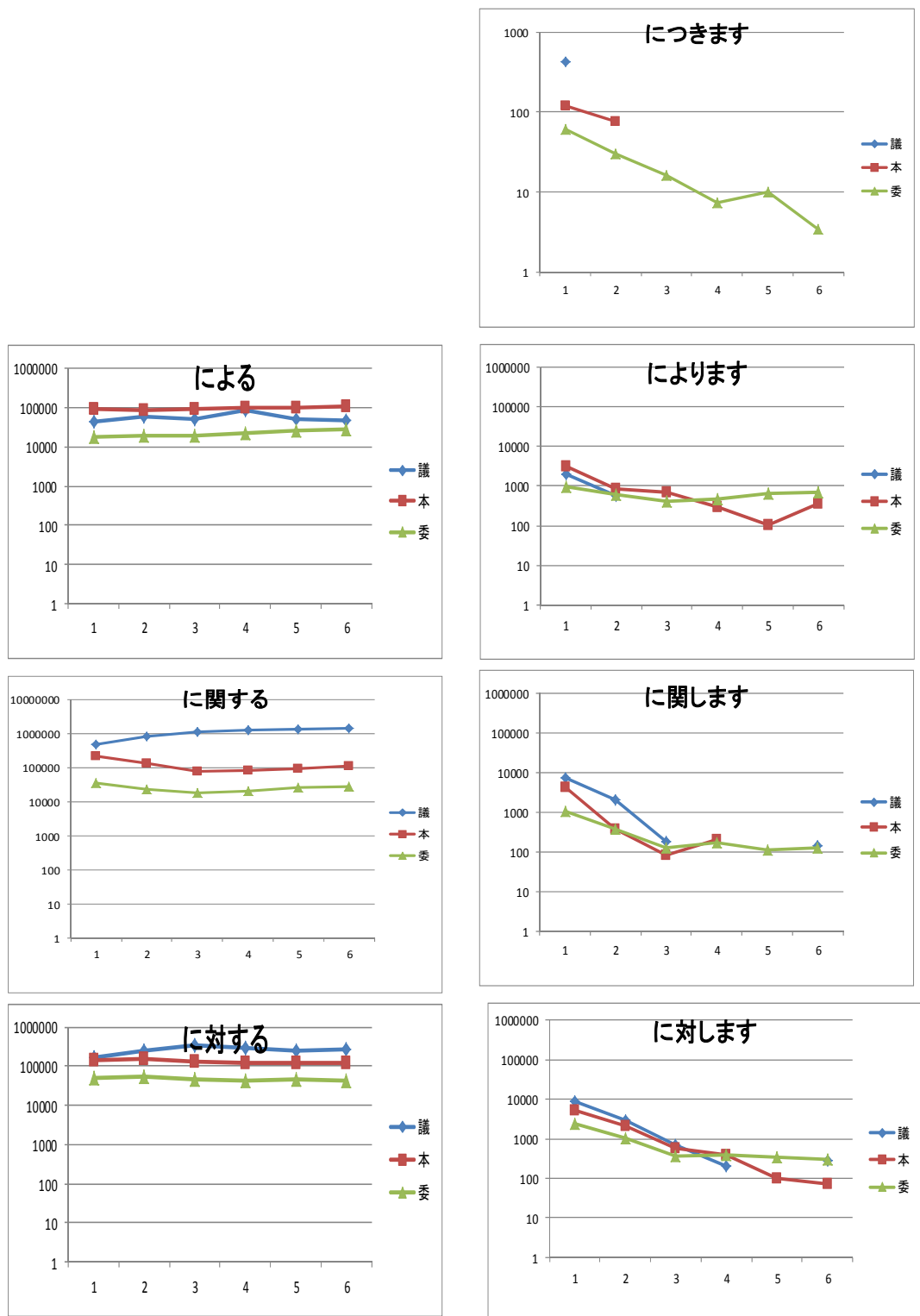


図 15-図 21 頻度の推移 (議長等/本会議/委員会)

「よりまして・関して・対して」などで議長の発言での頻度が高い傾向が見られる。標題や議事進行上の定型的発言の影響かと思われる。また「における・に関する・に対する」などは委員会より本会議での頻度が高いが、「によって」などはその逆の傾向を示している。

2.2. 先行/後続する複合辞的要素

国会会議録では、複合辞的形式が複数連続することがよく見られる。「～におきます」を例にとると、それに先行するものに次のようなものがある。

(8) 「～(の)上に」

やってまいります上におきます措置といたしましては
干拓ができました上におきます養殖業の問題でございます
同じような仕事の上におきまする指揮命令の関係において

(9) 「～(の)際に」

一定のいろいろな措置をいたしまする際におきまする認定は、医学上
審査の内示を与えた際におきます地目は畑が
農薬の登録の際におきます水道水中の農薬の除去技術の検討に関しましては

(10) 「～(の)場合に」

みそを作る場合におきまする醗酵過程において
物価が値上りした場合におきまする実態生計費をどうして
会計士補の懲戒の場合におきまする権利を保護しようと

また、後続するものとしては、連体要素の後に挿入されて明確な意味を持たない「ところの」が代表的である。これは、一般的な連体修飾節の後にもよく出現する。

(11) ニジェール国におきますところの探鉱開発を進めるというふうに

一番最近におきますところの暴挙というか、許しがたい行為で

「におきます」の前後両方に複合辞的形式を伴う例も少数ではあるが見られる。

(12) 今後の御審議の上におきますところの御参考に申し上げます。

経済の上におきますところの規律を確立するにいたしましても
地方自治法の上におきますところの一般的な国、府県、市町村

3. おわりに

国会会議録に特徴に見られる特異な複合辞形式を指摘し、それらを含めた複合辞の丁寧/普通形での分布特徴を観察した。さらに文末形式の丁寧度との関係や、複合辞の前後に現れる特徴語・表現なども分析したい。

文 献

- 杉本武(2009) 「複合格助詞の連体用法について」 文部科学省科学研究費補助金特定領域研究「日本語コーパス」平成20年度研究成果報告書『コーパスを用いた日本語研究の精密化と新しい研究領域・手法の開発 III』(研究代表者:田野村忠温) pp. 166-182.
- 服部匡(2011a) 「言語資料としての国会会議録の特徴(1) 一本会議と委員会等との比較」『同志社女子大学日本語日本文学』 23:pp.39-49.
- 服部匡(近刊) 「現代日本語の通時変化」『講座日本語コーパス 第6巻 コーパスと日本語学』 朝倉書店
- 三尾砂(1942) 『話言葉の文法(言葉遣編)』 帝国教育会出版部